

令和3年3月  
第416号



1/23返礼品作り

広報



お  
お  
く



## 丸森の『ひな飾りフェア』 華やかになりました。

時代によつての違いが楽しい！

### おもな内容

- ・ 兎塔の在り様について … p 1～3
- ・ 大湫のミライ総合計画プロジェクト … p 4～5
- ・ 今年もモニタリングに行こう … p 6～7
- ・ 丸森だより
- ・ お知らせ

## 兎塔の在り様について

天野 裕夫

昨年の大杉倒壊の後、どの様に木と神社を建て直して行くか、大湫の人達と話し合ってきました。

様々な考え方がありますが、皆大杉に対しての敬愛の気持ちは共通していると思います。

当初僕が考えたのは、横たえたままにしてなるべく大きく残すのが自然な流れで、立っていた時より大きさが目の前で展開して素晴らしい形だと思っていました。

しかし立てて注連縄を巻きたいという皆の気持ちが強く、劣化していく木を管理し続ける事が難しいという事も考えて、立てる事に同意しました。

ただ、立てるとなれば限られた高さとなるようなので、その上の部分を彫刻にさ

せてもらいたいと言う事を大杉再生会議で承認して頂きました。

注連縄を巻くところと、その上の彫刻になるところは合わせると9m、大杉のいつも見えていたゴツゴツとした一番大杉らしい所で、両方が立っていた近くに保存できたら倒れる前以上に遜色なく、大湫のシンボルとして再生してくれると思います。とても樹と思えないように大きくうねった形を後世に残したい、なるべく木をそのままの形で立てた上に兎の頭をやはり大杉で造って載せようと考えています。

何故兎なのかというのは木の全体の形から受ける僕のイメージと、親しみやすく可愛らしい兎の頭の形は見上げるように大きく在っても分かり易いという事から考えました。

彫刻の設置場所は西森川の山車蔵の横が候補になっています。土台を作って4.5mの部分載せて、これがこのまま兎の躰になります。



大きくウロに成っていると予測されるので、土台の下から内部へ入れるように出来たらいいと考えています。

兎の頭と耳は別の部材で作ります。二股に分かれる部分で後ろの方は複雑な形でなかなか見きれませんが、張り出した枝や切り離れた枝を使って、柱や梁と繋いで仏像の光背の様に、龍などの形を削り足していけたらいいと思っております。

兎の足の部分は雨が降り込む所なので、焼き物で作り接合することにします。

三年経ったら組み合わせて一応の完成となり、できれば大湫の木を使って屋根をかけます。

設置場所は大杉の大きさや神社との一体感を考えると、西森川が最適だと思いますが、街並とのバランスも考えて、雛形や図面を描いて関係者の方々と検



討を重ねています。

いずれにせよ9月には大杉を切って動かすので、それまでに土台などを用意しなければならぬということでした。

大杉の下で生まれ育って、彫刻家になり、9年前に枯れた枝を大量に頂き100点以上の作品を造ってきました。

3年前に大湫に戻り、昨年4月から神社氏子総代となって、7月に大杉が倒れました。この偉大な木の存在の素晴らしさを良い形に残すのが役目と覚悟して取り組んでいます。

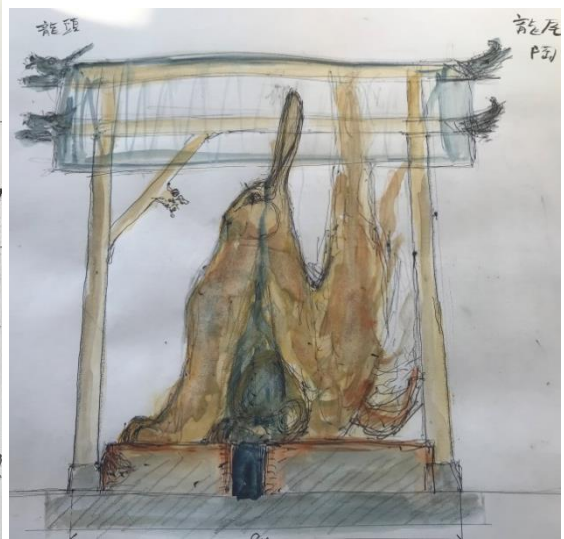
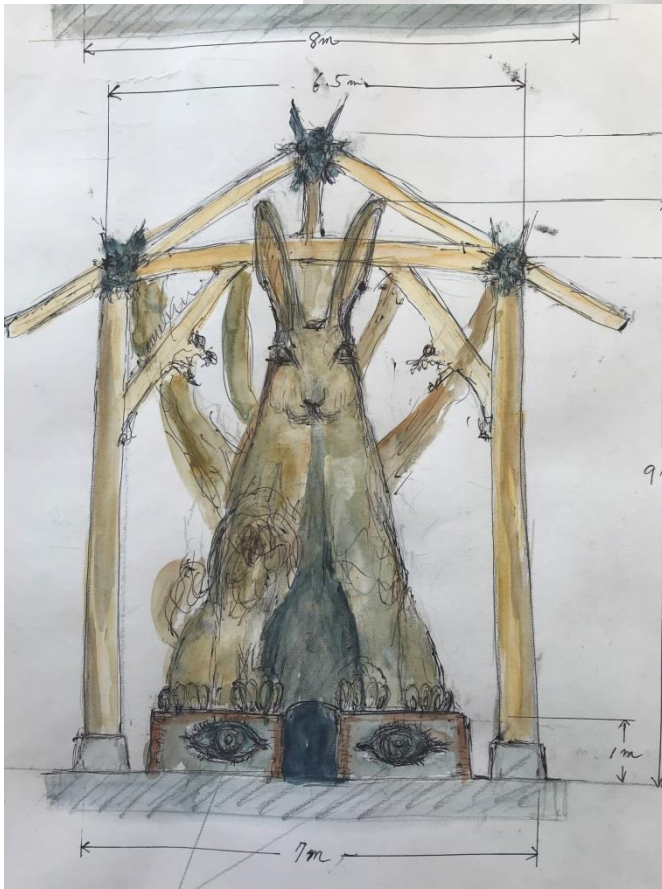
自分の作品を造ると言う面もありますが、本来は大杉の大杉らしい部分を大湫に残す事が一番の目的だと思っています。

「パリのエッフェル塔が出来た時は、景観を壊すと散々な悪評があったと聞きます。今いきなり大杉が何処かの町の中に現れたら、側で暮らす人たちは驚いたり鬱陶しく思うかもしれません。大杉は長い年月をかけて我が町の柱に成っ



たのだと思います。倒れたとはいえまだ大杉はあります。再び柱として立つてもらいたいというのがこの計画です。必要に応じて変更したり付け加えたりを、大湫町民全体で出来ればと思っています。一応三年たったら大体の形にしたいと思っていますが、もし西森邸にこれが実現できたら、若い人たちの「ワイワイプロジェクト」と一緒にあって愛される場所に行ければと思います」。

西森川 兎塔構想 2021.2.14



大湫公民館に兎塔の意見箱が置いてあります。  
ご意見があれば遠慮なく書いて入れて下さい。



## 「大湫町大杉再生募金」ありがとうございました！

令和2年7月豪雨により倒木被災した、樹齢 1300 年とも伝わる「大湫神明神社の大杉」。皆様のご支援とご協力により、目標とする資金調達の目途もつき、新年度から具体的復旧復興作業にはいります。

次の段階として、「瑞浪市の文化財として根幹の一部を現地に残して保存展示するプラン」と「素材活用の一案として、地元彫刻家 天野裕夫による巨大モニュメントを制作し設置するプラン」が検討されております。長期にわたる事業になります。今後とも皆さまのお見守りと、さらなるご支援ご協力をお願いいたします。

◎問合せ 大湫町コミュニティ推進協議会 ☎63-2360

みんなで作る

# 大湫のミライ 総合計画プロジェクト 2020

この1年を通して話し合い、まとめた計画書は年度内に皆さんにお渡しできるよう、仕上げを行っています。計画づくりを行ってきた「青年チーム」は、各区長さんから選出された方、移住者、若手議員、町外からの外部サポーターなどメンバー20名で構成されています。活動報告最終号の今回は任意で10名のメンバーから1年の活動の感想をもらいました。



奥村義二さん

今回、大湫の総合計画作りに参加できて良かったと思います。今まで自分とは接点のなかった方と知り合うことができ、とても刺激をもらいました。また、計画づくりに携わっていると大湫の魅力を再認識し、自分の価値観を見直す機会となりました。これから自分の為に、ふるさとの為にできることから始めようと思っています。今後ともよろしくお願いします。

昨年は大湫町にとって大きな出来事がありました。その様な中、普段ではなかなか話をある事が出来ない方と会話や作業をする機会が多々ありました。そこで得られた大湫町に対する考え方や感じ方を今後の生活の中で活かしていけたら嬉しいと思います。又、今後この様な機会があれば参加していきたいと思っています。



板橋輝繁さん

移来の大湫を語る機会を得られたことはいい経験になりました。この機会をもとに今後も大湫の未来について考えていきたいと思っています。



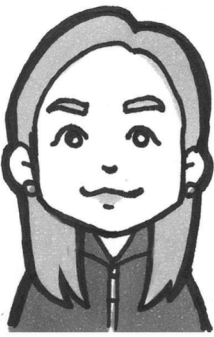
棚橋哲夫さん

若手の会に出した意見も反映され、良い形でまとまってきたと思います。これからの行動に移せる形にしっかり落とし込んでいきたいです。



樋田翔太さん

当プロジェクトは令和2年度夢つくり地域交付金(ステップアップ事業)に採択され、大湫町コミュニティ推進協議会が管理運営する事業です。実施は一般社団法人サステナに一部業務を委託します。



玉川幸枝さん

大湫町の魅力を改めて見つめ直すことができた機会でした。活動している中で、この町の未来を考えてワクワクしました！移住してから転入対策委員として楽しく活動させてもらっています。これからも進化していく大湫町に関わり続けたいと思います。

改めて総合振興計画をつくり、本当にいい計画ができたと思います。自分たちのための計画なんだと強く思うようになりました。現状と課題を知り、より大湫町らしい優しい町になれるといいと思います。



田村啓さん



加治木寛之さん

趣味から知った大湫町。いままで全然知らなかったことが、いざ関わってみて終わってみると大湫のファンになりました。

総合計画の企画に関わることで、自分の将来も考えるようになりました。子どもたちが大きくなったときに楽しかったと思ってもらえるような町でありたいと思いました。



秋山仁恵さん



足立貴一さん

与えられた環境の中で暮らすというところから、自分たちの暮らしをつくっていくというところへ転換する良いきっかけになったと思います。計画の策定で終わることなく、実現に向けて今後も取り組んでいきます。

まちの未来について同輩の方々と話すということは、移住者の僕にはあまりなかったことで、とても貴重な場でした。これを機に、この計画と共に、こうした場を続けていけると良いなと思いました。



山下千尋さん

## 大湫町総合振興計画報告会を予定しています

報告書の内容についてや、取り組みの振り返り、今後の活用について町民の皆さんと話し合いを行いたいと考えています。3月中に開催予定です。日程が決まり次第お知らせします。よろしくお願いいたします。

## 今年もモニタリングに行こう

標高500メートルの大湫も春はそこまで来ています。オオイヌノフグリのコバルト色の花も目に付くようになりました。花の便りと共に2021年度のモニタリング（「モニタリングサイト100里地調査」）が始まります。開始は3月28日（日）。4年目です。

### （1）長期の調査で変化を把握

3年経過し「何か変化がありますか」と尋ねられますが、変化らしい変化はありません。よほどでなければ、5年・10年で目に見えるほどの変化はしないものです。もちろん開発や自然災害が起きるようなことがあれば、その区域は一挙に変わります。それでも復元が期待できます。

モニタリング調査をとりまとめる環境省は、100年間の長期を視野に日本の環境を見ていく計画なのです。

小さな変化は、なかなか気付きにくい。だが、小さくても積み重ねられると、量の変化が質の変化になります。

過去100年の気温は上昇傾向にあり、地球

温暖化が指摘されています。異論もあまます。が。気候変動はわかりにくい。変化が小さく、変化は直線的でなく、振れが大きく決め手に欠けるからなのでしょう。

### （2）温暖化の脅威

最近こんなニュースが流れました。ヒマラヤの氷河が溶けて崩壊、洪水を引き起こしていた労働者を巻き込み、死亡と行方不明が多数出たとの報道。2月7日のことです。原因は「地球温暖化」ではないかともいわれています。

ドイツのテレビ局が作製したドキュメンタリーに永久凍土の融解を取り上げたものがあり、NHKで放映されました。永久凍土に封じ込められていたトナカイの死骸から炭疽病(たんそびょう)が広がり、多数の人が入院をしたと。また、未知のウイルスも発見されたと伝えます。

永久凍土が溶け出し、氷に封印されたものが再び蘇る。タイムカプセルの開封やパンドラの箱を開けるようなものかもしれません。

地球温暖化をくい止めることは急務。「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として

ゼロにする」(菅首相。2020・10・26)と表明。炭素を排出しない社会(脱炭素社会)の実現を目指すといえます。

二酸化炭素は地球の熱を逃がさない毛布のような働きをするガスの一つ。このガスの増加が気温を上昇させたと考えられています。

地中に眠っていた石油や石炭が掘り出され、エネルギーとして燃やされる。石油・石炭を構成する炭素は空気中の酸素と結合し、二酸化炭素となり放出されます。こうして二酸化炭素が増えたのです。

もちろん、植物によって二酸化炭素は大気から直物体内に取り込まれたり、海水に吸収されたりするものもあります。

吸収より放出量が多いので、どんどん増えていったのです。

### （3）地球の堪忍袋

広く、大きな海は何でも飲み込んでくれています。それをよいことに私たちは川や海に何でも捨ててきたのです。「水に流す」は「ご破算なり」や「チャラにする」と同義語。

海や自然は人間のわがままに寛容でした。

だが、21世紀に入り、自然の復元力がおぼ

つかなくなりつつあります。いや、もうそう  
なっているかもしれません。バネも引つ張り  
すぎると元に戻らないのと同じように。それ  
ほどの力を人間は地球に加えているのです。  
地球の堪忍袋の緒が切れそうなのです。

自然を克服、征服したかのように人類は思  
ってきたようです。福島原発から排出される  
汚染水を「アンダーコントロール」と言い切  
った安倍前首相の「厚顔無恥」が思い出され  
ます。

#### (4) 自然は復讐する？

最近、イギリスのケンブリッジ大学の研究  
グループが「コウモリの分布変化が新型コロ  
ナとかかわっているのでは」と学術誌(サイ  
エンス・オブ・ザ・エンバイロメント)に発  
表(2月5日付)しました。

コウモリはいろいろなコロナウイルスを  
体内に持っています。コウモリ自身は何の  
症状も出ません。ウイルスの数は3000種と推定  
されています。サーズ(SARS)やマーズ  
(MERS)ウイルスもコウモリ由来のよう  
です。

コウモリの分布が変化したのは、気温や降  
水量の変化により植物の生育状態(植生)が

変化したと関連します。気候変動は、中  
国南部の熱帯低木林を草原にし、さらに落葉  
樹林へと変化させました。過去100年のデータ  
によって明らかになったのです。その結果、  
コウモリが好む環境となり、中国南部で約40  
種類のコウモリと100種のコロナウイルスが  
増えたことになるということです。

#### (5) 地球規模で見ることの大切さ

生物相互の関係や生物と環境との関わり  
はとても複雑。この生態系という考え方から  
研究と理論に立脚し自然保護運動にも身を  
置いた、エコロジスト(生態学者)の先駆者、  
南方熊楠(みなかたまくぐす)が思い起こされま  
す。

絡み合った関係は長期の観察で初めて因  
果関係が明らかにされることも多いのです。  
モニタリング調査もこの複雑な自然を見  
る活動とも言えます。誰でも調査活動に参加  
できます。多数の参加をお待ちします。

文責 長谷川 明

### モニタリング参加要領

実施日：毎月1回、第4日曜日。9時から11頃まで

\*都合により変更することがあります

集合場所：宗昌寺駐車場

調査区域：約2キロの定められたコースを歩きます

服装：歩きやすい服装

長袖・長ズボンが望ましい。天候により着帽も

※雨天決行(警報が発出されているときは中止)

※コロナ対応のためマスクを着用してください

主催：大湫町自然保全委員会 協賛：大湫公民館

岐阜県の一般サイトは下記のウェブサイトにて確認できます

<https://www.nacsj.or.jp/activities/guardians/moni1000/site/area4/#gifu>



# 2月の丸森だより

令和3年2月21日現在

## 2月丸森の企画

- ひな祭りフェア(享保雛、古今雛、土雛、吊るし雛等の展示)【2/3~4/4】
- 大湫宿Instagramキャンペーン#大湫にいこまいか【12月15日~2月25日】

## 2月の状況

- \*2日 『龍神図』搬出。公民館に継続展示。大杉之御笏(おおすぎのおんしゃく)搬出『ひな祭りフェア』搬入展示。
- \*7日 足又稻荷神社例祭
- \*11日 お休み処にサイクルステーション設置
- \*17日 第10回 大杉再生検討会議
- \*18・19日 防火管理者講習
- \*20日 公民館・丸森運営委員会
- \*25日 大湫宿Instagramキャンペーン『#大湫にいこまいか』投稿募集終了。入賞画像審査開始。
- \*2月末 「大杉再生募金」終了。募金箱撤収。



## 2月 丸森訪問者

町外		町内		合計	その内 (外国関係)
大人	幼小 中高	大人	幼小 中高		
172	8	59	0	239	0

前年同月比	74%	R2,4月~	4,125	オープンから	35,245
-------	-----	--------	-------	--------	--------

\*1月7日に首都圏に発出されたコロナ緊急事態宣言は、近畿圏、愛知・岐阜へと拡大され、期間も大きく延長されました。県をまたぐ不要不急の移動の自粛が、さらに強く求められました。2月に入って昨年同月74%の来宿者数。これを多と見るか、少と見るか。春の気配も感じられるようになってきた大湫宿。天気の良い休日などは、宿内を散策する人たちも多く見られます。訪れるほうも、迎える側もウィズコロナ時代のマナーは、しっかり守りたいものです。

- \*丸森を訪れて下さるお客様に訊かれること。「境内に横たわっている大杉はどうなるの?」
- \*「瑞浪市の文化財として根幹の一部を現地に残して保存展示するプラン」、「1300年にわたりこの地に根付いていた大杉を、岐阜県を代表する彫刻家、地元大湫出身在住の天野裕夫の作品として再生させ、大湫宿に遺すことにより、永く守り伝えていくプラン」。現在、2つのプランを主として検討しております。
- \*お客様には、このように丁寧に説明し、納得して戴き、賛同を頂いております。1300年とは言いません。大杉の魂を100年でも、200年でも未来に残すことを考えましょう。

## 3月の企画・予定

- 引き続きひな祭りフェア(享保雛、古今雛、土雛、吊るし雛等の展示)【2/3~4/4】

## 大湫公民館・大湫コミュニティからのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより 3月までの活動はお休みします。</p>
	<p>おしゃべりサロン『こぶし』（100円コーヒー） 当分の間お休みさせていただきます</p>
	<p>大湫宿お休み処 3月まではお休みさせていただきます。</p>
	<p>ご招待券あります 2枚 アンドリュウ・ワイエスと 丸沼芸術の森コレクション展 期間:令和3年1月5日～令和3年3月14日 場所:岐阜県現代陶芸美術館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『本の世界をめぐる冒険』 ナカムラクニオ:著 NHK 出版:刊 文字を持たなかった時代の人々は、すべて口伝で語り伝えました。昔から文字へ本がたどってきた道のりを振り返ることで本の可能性を見つけることができます。</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 3月のパトロール コロナ禍に伴い、3月の防犯パトロールは中止とします。 * 当番の方はパスとします。</p>
	<p>デマンド交通 利用者(大湫～日吉東部ルート) 1月:19便(稼働率16.7%) 延べ 21名</p> <p>皆さん、たくさん利用 ください。</p>

**\*集まろう会、3月はお休みします。**

## 区長日記

コロナウイルス対策の岐阜県緊急事態宣言が延長発令され、不自由な毎日が続きます。全国的にはワクチンの接種が医療関係者から先行して始まり、高齢者への接種も4月からは順次開始されることとなります。近くでは大湫病院においてもワクチン接種に取り組まれることとなるようですので、高齢化率の高い大湫町においては、危険回避のためにも、なるべく全員の方が接種いただけることを願っています。

神明大杉の再生事業につきましては、県費を含め、市において令和三年度二千万円余りの予算措置をしていただきました。また昨年来、地元の皆様、市民の皆様、そして全国の大杉に思いを寄せてくださった皆様のご支援によりまして、大湫町に一千万円を超える大杉再生基金を造成することができました。

また、市の文化財審議会におきましても、未来へ向けて神明大杉を末永く文化財として大切にしていこうという方

針を打ち出していたいただきました。これらの事実を礎に、令和三年度には大湫町コミュニティ推進協議会として、ついに大杉再生事業に取り組むこととなります。

図らずも本年は、大湫町の「総合振興計画」の策定元年でもあります。住みよい町づくりを可能などころから手掛けて、ふる里大湫を未来の子供たちにつないで行こうではありませんか。

足立

2月4日 総合計画策定検討会議

5日 恵那市中野方移住定住先進地視察

6日 転入希望世帯案内

9日 大杉モニユメント検討会議

10日 総合計画策定検討会議

12日 瑞浪市長申し入れ行動

17日 第十回神明大杉再生検討会議

20日 公民館・丸森運営委員会

26日 総合計画策定検討会議

三〇	二八	二六	二五	二一	二〇	一八	一七	一四	七	五	三	二	日	令和三年三月行事予定
火	日	金	木	日	土	木	水	日	日	金	水	火	曜	
広報委員会	新森内覧会 モニタリング調査	小・中学校修了式 竜吟幼稚園卒園式	小学校卒業式	雄白稲荷祭礼 神明神社祈年祭	春分の日	大湫町民ゴルフ大会	大杉再生検討会議	春季奉仕作業	子供会送迎会	中学校卒業式 定例区長・幹事会	大杉再生検討会議 確定申告相談	財産区会議	予	定
不燃ごみ:3/4(木) : 資源ごみ:3/19(金)														

編集後記

今年度は、新型コロナウイルスの大流行、神明社の大杉倒木被災という大変な年になりました。

コロナのワクチン接種が始まり、大杉も新たな再生計画等が動き始めます。返礼品作りも始まりました。

春のさわやかな風が、大湫町にとっても、優しく吹き抜けてくれる事を願っています。

M

公民館での年賀状展では、たくさんの年賀状の提供をいただき、楽しい催しになりました。ご協力ありがとうございました。



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 令和3年 3月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp>